

# 高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

19日（土）に小6、中1が屏東の竹田郷池上文庫に5月16日に出かけるので、下見を兼ねて、職員の希望者で行って来ました。戦前、池上一郎博士が軍医として竹田郷に赴任していました。軍医なのですが、地元の人たちも診察し、大変慕われていたということです。

そこで、現在、池上文庫の理事長をしている劉さんが戦後日本に留学したときに、池上先生をたずね、そこから交際が始まったと聞いています。そして、池上先生が亡くなってから、本が池上先生のお宅から送られてきて、14年目。日本語の図書館として、また、日本人と台湾人の交流の場として利用されています。何回も行ってはいますが、いつも、暖かく迎えていただいています。私は、日本からのお客さんがくると、かなりの割合でお連れしています。

## 4月21日（月）

台北に行ってきました。小学校の卒業式の式辞で話をした荘さんに会いに行きました。日本人会で荘さんに講演をお願いしたと聞いたので、それなら、日本人学校でも子ども達に話をしてくれないかというお願いです。荘さんは、何をした人かという、台湾の環境問題の解決に努めた方で、台湾のゴミ収集のシステムと実際に軌道に乗せるまでやった方です。環境局のトップまで務めた方です。私自身は、タイとか、多くの東南アジア諸国に比べてゴミ行政は、素晴らしいと感じていました。3年前に台湾に来たときから感じていた話をしてきました。6月19日に来ていただきます。近くになったらご案内します。

## 4月23日（水）

昼前に中学部2年、3年の授業を数分ずつ見てきました。中2は、社会科をやっていました。領土、領海などの復習のあと、経済水域について説明をしてきました。日本でこの授業をしてもあまりタイムリーにできる地域は少ないと思います。でも、台湾では、日常的に尖閣問題や中国大陸を意識しない授業などあり得ません。

中3の数学もみてきました。ちょうど、練習問題の最中でした。さっと、見た感じでは解き方につまずいている生徒はいませんでした。が、計算式の答えしか書いていない生徒（間違ったら、途中を残していないので、なぜ間違ったかが追求できない。）が気になり

ました。

#### 4月24日（木）

朝、PMが85という高い数字でした。徐々に下がり、8時すぎから70台にはなりました。

先生方には、この1年間どのように学級を経営するか、どのように現地教育事情の調査をするか、ということ聞いています。1人1時間程度かけて、本人が申請した申請書をもとに話し合いをしていきます。3月には、私からすでに26年度の学校をどのように運営していくかは、紙を基にして説明しています。

学校の組織というものはそういうものです、とお伝えしたくて書きました。県が違って、小中の校種が違うのは、いい面もありますが、いちいち確認しないと、同じ言葉をつかっても意味が違うのです。私達教員は、例年、まずそこから戸惑ってのスタートです。

私のバンコクでの経験ですと、運動会の「よーい、ドン」だけで、1時間の会議をしていました。それぞれが、自分の経験で、これがいいということを言い合って、結論がうまくつかなくなります。（ちなみに、私は、こんなことは決める人・・・学校では、体育主任・・・が決めればよいと思っているので、だまっていました。20年前のことがよみがえります。）

中1の掲示板に学級目標がどのようにできあがったか、一人一人の思いが詰まったものが掲示されていました。それぞれの学級が、これからどうしていこうかと、考えたり、誓い合ったりしています。その願いが掲示されていきます。

小学部のたてわり集会がありました。新1年生が歓迎されていました。私が見た場面は、1年生が全員「○○（名前）です。△△が好きです。」と大きな声で小学部の先輩に発表していました。全員、花○です。

#### 4月25日（金）

日誌を見ていたら、去年の4月25日に、児童が学校でけがをして、2人病院につれていきました。5月になっても早々に骨折がでました。今年、24日（昨日）にけが人が出ました。原因は、ちょっとした不注意です。それだけなら、いつでもあるのですが、けがをするのはまれで、4月に集中しているのは、久しぶりの学校と急成長で身体のバランスが悪くなっているのかと、様々考えましたが、決定的な理由はわかりません。